

車座談議（植田自治会）

1 日 時 平成 25 年 9 月 5 日（木） 16 : 00 ～ 16 : 15

2 場 所 沼津市植田

3 出席者 植田自治会 1 名

沼津土木事務所 都市計画課

4 いただいた主なご意見

- ・原地区に貨物が移転される場合(原A案)は、植田踏切（県道東柏原沼津線の踏切）が開かずの踏切になってしまうので心配。踏切が開かなくなると、植田地区の分断となる。
- ・桃里に鉄道をアンダーで越える道路ができるとは聞いているが、植田地区住民にとって、桃里のアンダー道路まで回るのは不便。植田地区公民館も地区の北側にあるので、やはり植田踏切がどうなるのかが一番心配。
- ・植田踏切が開かずの踏切になるのであれば、自転車や歩行者が往来できる跨線橋を設置して欲しい。
- ・原地区に貨物駅を移転せず、健康・文化施設等を西側ゾーンへ導入する場合(原B案)や、小規模整備案(原C案)についての期待や不安は特にない。
- ・天神社のところで海拔が9 m程度あり、植田地区は比較的地盤が高いので、津波の心配はしていない。

※ 植田自治会の集会時に、ステップ3，4の成果を配布いただくよう依頼した。